

安倍元首相

国葬に

異議あり

戦前には、皇室の葬儀を決めた「国葬令」という勅令があり、伊藤博文や西園寺公望、山本五十六など「国家に偉功がある臣下」にも行われました。戦後「国葬令」は廃止され、国葬とされたのは、吉田茂元首相だけだと思えます。

岸田首相は「安倍さんの遺志を継ぐ」と言って「国葬」に踏み切ったようですが、これは、安倍元首相が熱心だった「軍拡と改憲」キャンペーンそのものになりかねないと思えます。

政治的利用は許されない



ジャーナリズム研究者 丸山重威しげたけさん

安倍さんは、国会には嘘（うそ）をついて、「モリ、カケ、桜」と、国政を私物化し、「こんな人たちに負けるわけにはいかない」と反対する国民を分断、選別した政治家でした。その意味でも、全国的に憎しまれた人とは言えそうにありません。

「死」が政治的に利用され、まして「改憲」キャンペーンに使われるようなことを許すわけにはいきません。「政教分離」というのは、亡くなった人に敬意を表うということだと思えます。